

病虫害情報

令和 7 年 8 月 21 日
奈良県病虫害防除所長

令和 7 年度病虫害情報第 4 号

病虫害：紋枯病

作物：水稻

対象地域：平坦地域 発生時期：平年並 発生量：やや多い

1. 情報の根拠

(1) 令和 7 年 8 月 19、21 日に調査した結果、平年よりやや多い発生が認められました。

発生ほ場率：43.8%（平年 39.4%、前年 9.5%）

発病株率： 20.2%（平年 5.5%、前年 1.1%）

(2) 一部の圃場で**病斑の上位への進展**が確認されています。

今後、気温が高く推移すると、さらに上位へ進展する可能性があります。

2. 防除上の注意事項

(1) ほ場によって紋枯病の発生状況が異なるので、ほ場を見回り発生状況を確認して下さい。

(2) 紋枯病により株が倒伏すると収穫に労力を要します。倒伏の可能性がある際は、収穫適期の範囲内で早刈りして下さい。

(3) 病斑の上位への進展が確認される場合は防除を行って下さい。その際、薬剤の収穫前使用日数をよく確認します。

※防除薬剤は下表を参考にして下さい。

3. その他の注意事項

(1) 農薬を使用する際には、ラベルに記載された登録の有無、収穫前使用日数や使用回数を確認します。

(2) 紋枯病の病斑が上位まで進展すると、穂枯れ、倒伏や玄米品質の低下を引き起こします。

(3) 紋枯病の発病適温は 28～32℃であり、高温年に発生が多くなります。

(4) 紋枯病の伝染源は被害イネ等に形成された菌核です。多発した圃場では、次作も多発する恐れがあるため発生状況に注意します。

表 紋枯病に対する主な防除薬剤（令和7年8月21日現在の登録状況）

農薬名	希釈倍数 使用量	使用方法	使用時期	本剤の 使用回数	有効成分	FRAC コード
リンバー粒剤	3～4kg/10a	散布	収穫30日前まで	2回以内	フラメトビル	7
モンガリット粒剤	3～4kg/10a	湛水散布	収穫30日前まで	2回以内	シメコナゾール	3
モンカット水和剤	1,000倍 60～150L/10a	散布	収穫14日前まで	4回以内	フルトラニル	7
アミスターエイト	1,000～1,500倍 100～200L/10a	散布	収穫14日前まで	3回以内	アゾキシストロビン	11
バリダシン液剤5	1,000倍 60～150L/10a	散布	収穫14日前まで	5回以内	バリダマイシン	U18



写真 紋枯病の病斑



写真 紋枯病による下葉の枯れ

お問い合わせは

奈良県病害虫防除所

TEL. 0744-47-4481

その他関連情報は以下をご覧ください

病害虫防除所/奈良県公式ホームページ

<http://www.pref.nara.jp/1557.htm>

奈良県農業情報システム（農作物病害虫・雑草防除指導指針）

<http://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/nara>